

## 2022年8月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準（総売上高）で開示しております。

### 〔売上高 総計〕

(株)高島屋 計 ※1	(前年比 単位:%) (株)高島屋 および 国内百貨店子会社 計
+26.4	+25.7

### 〔店舗・事業部別 概況〕

			(前年比 単位:%)		
		売上高	入店客数		
大阪店	+24.0	+49.5	大宮店	+13.1	+14.0
堺店	+4.3	+10.0	柏店 ※2	+16.9	+13.8
京都店 ※2	+17.2	+15.0	(株)高島屋 各店計	+23.6	+23.1
泉北店	+5.1	+3.9	岡山高島屋	+21.6	+29.8
日本橋店	+24.7	+29.6	岐阜高島屋	+8.7	+10.0
横浜店 ※2	+29.7	+28.8	高崎高島屋	+15.1	+13.8
新宿店	+42.1	+36.8	(株)高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計	+23.1	+22.9
玉川店	+17.2	+8.9	法人事業	+88.4	
立川店	+6.9	+4.6	クロスメディア事業	+0.2	

※1. (株)高島屋の売上高は、(株)高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。

※2. 京都店は「洛西店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の売上高をそれぞれ含みます。

### 〔商品別売上高〕

			(前年比 単位:%)		
		(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社		
衣料品	+22.7	+22.3	食料品	+24.8	+24.0
紳士服・洋品	+8.3	+8.6	生鮮食品	+8.9	+8.6
婦人服・洋品	+29.5	+28.8	菓子	+48.5	+46.7
子供服・洋品	+17.7	+17.7	惣菜	+33.0	+32.3
その他衣料品	△2.7	△2.6	その他	△1.3	△0.9
身のまわり品	+39.6	+38.7	食堂・喫茶	+66.1	+66.0
家庭用品	+19.1	+18.2	雑貨	+21.9	+21.2
家具	+2.7	+3.2	化粧品	+18.5	+17.2
家電	+51.1	+57.7	美術・宝飾品・貴金属	+19.8	+19.9
その他家庭用品	+21.5	+19.1	その他	+50.2	+50.0
			サービス	+71.5	+71.2
			その他	△2.3	△1.9
			合計	+26.4	+25.7

○8月度の店頭売上は、緊急事態宣言に伴い売上が減少した前年の反動に加え、高額品が好調であったことから、前年実績を上回りました。

店頭売上	前年比	+23.1%	2019年比	△11.1%	2018年比	△8.0%
免税売上	前年比	+170.1%	2019年比	△47.6%	2018年比	△52.4%
免税を除いた店頭売上	前年比	+20.0%	2019年比	△8.1%	2018年比	△3.8%

※2019年比に同年10月の消費増税の影響が生じるため、2018年比を記載しております。

○法人事業は大口受注により、前年を上回りました。

○9月の店頭売上は、14日までの累計で前年比+29.5%（2019年比△9.7%）、免税売上は前年比+184.5%（同△52.3%）、免税を除いた店頭売上は前年比+26.8%（同△6.5%）で推移しています。